

吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー第2660地区

ウィークリー 2024-25



創立 1980.6.12
 事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020
 URL <http://www.suita-west-rc.org> E-mail src@jasmine.ocn.ne.jp
 例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00
 会長：紙谷幸弘 幹事：清水良寛 クラブ会報委員長：合田 昇

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会	次回の例会
第1953回例会 令和7年1月27日 今週の歌 「理想にもえて」 卓話 「大阪・関西万博の最新情報」 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 広報・プロモーション局 地域・観光部 観光推進課 参事 池淵 広伸様 (佐々木プログラム委員長ゲスト)	第1954回例会 令和7年2月3日 今週の歌 「君が代」 「奉仕の理想」 卓話 「私の近況」 橋本 幸治 会員 「私の趣味」 合田 昇 会員

45th *Vamos!* さあ~いこう！ 新たな時代に向かって

会長挨拶 紙谷会長



国際ロータリークラブはアメリカシカゴにてポール・ハリスという一人の弁護士が、仲間たちと共に発足した組織です。仕事上の交流が友情へと発展する場を作りたいという志のもと、各メンバーの事務所を持ち回りで集会を行ったことから「ロータリー」と名付けられ、1905年2月23日に「シカゴロータリークラブ」として誕生しました。

日本においては、1920年（大正9年）10月20日、東京RCが世界で855番目のクラブとして創設され、その歴史が幕を開けました。以来、100年を超える歩みの中で、日本全国に2,204のクラブが設立され、会員数は84,137名にのぼります。

大阪地区には78のクラブが存在し、3,506名の会員が活動しておりますが、私ども吹田西RCもその一員

として、1980年6月12日に創設されました。今年で創立45周年を迎える節目の年でもございます。この45周年を期に吹田西RCが地域の方々にその活動をPRできるのかを目標に掲げ活動しております。

その一環として本日お友達にお声がけして、例会を開催させていただきました。

さて、今月は「職業奉仕月間」にあたります。社会奉仕や国際奉仕と比べると、職業奉仕の理念は少々難解に思われるかもしれませんが、その目的について、次のように記されております。

1. 知り合いを広めることによって、奉仕の機会とすること
 2. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること
- 多様な職業に携わる方々が一堂に会し、それぞれの知恵と知識を結集することで、大きな力を生み出し、より大きな貢献が可能となります。

今月は職業奉仕担当の職場体験事業がございます。多くの会員の方々の参加をお待ちしておりますとともに豊津第一小学校の児童にマジックを掛けたいとおもいますのでどうか宜しくお願い致します。

ゲスト紹介 親睦活動委員会 青木委員

本日はお客様として、岡村城太郎様（紙谷会長ご紹介）、馬場俊介様（西村会員ご紹介）、豊田真千子様（榎原会長エレクトご紹介）、西棟真太郎様（村田会員ご紹介）、井谷智子様（橋本幸治会員ご紹介）、古川由紀子様（橋本幸治会員ご紹介）、樋林良井様（清水大吾副会長ご紹介）の7名様にご参加いただいております。本日の例会をお楽しみください。

米山記念奨学会より「米山功労者」に対する、感謝状並びに記念品が届いておりますので、お渡しします。

- 第12回メジャードナー 紙谷会長
- 第11回メジャードナー 瀧川特別会員
- 第10回メジャードナー 家村会員・小川会員
(ルビーピンバッジあり)
- 第9回マルチプル 尾家会員・河邊会員
- 第5回マルチプル 田中会員
- 第4回マルチプル 榎原会員・木下会員
清水大吾会員・高木会員
- 第3回マルチプル 近藤会員・坂本会員
- 第1回 佐々木会員 (感謝状あり)

※米山功労者は累計10万円毎の寄付で表彰されます。
「メジャードナー」は累計100万円以上の寄付の方です。

各委員会報告

●木田国際奉仕委員長

「45周年記念コンサートのご案内」

コンサートまであと約1.5月ですので、再度皆さんに募集のご案内をさせていただきます。ケーシー・ハシモト氏はテノール歌手で、パーティー演奏集団を率いて全国を飛びまわる傍ら、NPO法人を立ち上げ、カンボジア等発展途上国で音楽教育のボランティアに尽力されています。

3月10日(月)16時、受付開始で、開演は16時30分から17時40分までとなっております。テーマは「音楽でつながり希望と平和」です。

会場のキャパシティは約200人ですので、皆さん一緒にお客様の集客をお願いいたします。

出席報告 出席委員会 佐藤委員長

- 会 員 数 40名 出席会員数 34名
- 来 客 7名 本日の出席率 94.44%
- 12月23日の出席率 (メーキャップ含む) 100%

ニコニコ箱 江村副SAA

本日は6名の方からご協力をいただきました。木田会員、阿部会員、清水(良)幹事、村田会員、木下会員、小山会員です。ありがとうございました。

本日のニコニコ箱	18,000円
累計のニコニコ箱	1,406,720円
累計のニコニコB	27,000円

私の職業

村田 龍哉 会員

今年度、新入会員の村田と申します。どうぞよろしくお願ひします。

まず、自己紹介ですが、1976年(昭和51年)生まれで、48歳になります。関東の私立大学を卒業し、2000年に当時あさひ銀行北本支店に配属されました。その後、大阪の心齋橋支店に転勤となり、ここで現在の妻が勤務しており、知り合うこととなりました。銀行って、非常に厳しいところで、支店内でお付き合いはご法度で、少しあやしいと思われたのか、1年半で、すぐに静岡県の浜松支店に異動となりました。

一方で、このころ、銀行はじめ金融を取り巻く環境は非常に厳しく、メガバンクが誕生、私どもも、大和銀行とあさひ銀行が合併、りそな銀行が誕生したりと、そのような世相でした。

合併はしたものの、バブルによる不良債権問題は片付いておらず、りそな銀行に公的資金が注入されたのも、この時期でした。再建に向けた過程のなか、銀行以外のさまざまな業種のお取引先様に向出し、学びを持ち帰るという目的で、私はセブンイレブンジャパンに2年間出向します。セブンイレブンでの最初の1年間はお店勤務で最終店長までやらせていただきました。後半1年間は、セブンイレブンの新規出店に携わる部署で、関西一円への出店のお手伝いをさせていただきました。

2年間の出向を終え、30歳を少し過ぎたくらいで、淀屋橋の御堂筋支店の法人渉外として配属されます。それからは、関西の法人渉外として、新大阪、神戸、阿波座に勤務しました。

ここまで、すべていわゆる支店の営業職で、中小企業さまを中心とした法人業務に携わってキャリアを積んで参りました。次に兵庫県の全店舗を管轄、サポート、また役員秘書業務のようなポジションを2年務めました。

そして次に、りそな銀行では土日祝日も開いているセブンデイズプラザという店舗が全国に20店舗ほどあるのですが、その梅田の店舗の所長を2年つとめ、2022年、今から2年9か月前に江坂支店と配属となり、昨年、吹田西RCへ入会させていただき、現在に至っております。

入会に至る経緯については、紙谷会長、梶山パスト会長、阿部直前会長はじめ、多くの皆様から応援していただきまして、入会の許可を会社から頂戴することができました。

では、次にりそな銀行についてご紹介させていただきます。りそなホールディングスという持株会社のもと、信託業務が行える商業銀行としては国内トップのりそ

な銀行、埼玉県で圧倒的なシェアを誇る埼玉りそな銀行、関西地銀代表格の関西みらい銀行、兵庫県内ではNo1のネットワークを有するみなと銀行という、銀行グループとなっております。

りそなグループは国内における有人の店舗数は818、うち関西では500を超える店舗を有しており、これは国内最大のネットワークです。首都圏では300弱の店舗網を有しております。中小企業のお客様向けで構成され、“地域金融”に軸足を置いた運営を行っている銀行グループです

こうして誕生したりそな銀行でしたが、2001年に合併したのにもかかわらず、再建、リストラがついていかず、2003年、公的資金注入、実質国有化、初の特別支援行という見出しが躍り、連日のように新聞やニュースで大きく取り上げられました。

そんななか、私は浜松にいたのですが、昨年末お亡くなりになったスズキの鈴木会長は、当時浜松支店取引先の会の会長をしていただいております、「このような困ったときはお互い助け合わなければいけない」とお客様にメッセージを届けてくださり、お客様のありがたさを痛感しました。個人的にも大変つらく、このような事態は二度と起こしてはいけないう、若いながらも思っていたことを記憶しております。

公的資金注入のピーク残高は3兆を超えておりました。いろいろ苦しいこともありました、12年で完済することができました。この10年強は、まずは公的資金の返済が第一にあって、多くのコストカットに取り組んでおり、給料やボーナスはもちろん、広告や寄付など経費については、本当に厳しい運用を行ってまいりました。私が銀行に勤めた20代、30代は、この公的資金返済が何よりも優先して取り組んでいたように感じます。

そして、あらためて現在のグループ概要ですけれど、グループ合算の総資産76兆、企業年金等の信託財産約30兆の金融グループを形成しております。りそな銀行は、大阪に本社とし、従業員が8,100人、店舗数は324店、預金35兆、貸出23兆という内容となっております。

これからは、りそな銀行の特色ある業務について、いくつかご紹介したいと思います。りそな銀行は信託銀行でもあります。信託って、少し聞きなれない、わかりづらい業務ではありますが、代表的な信託業務の一つに不動産があります。

不動産業務の最大の特徴は、街にある不動産屋さんとは異なり、広告等を出したりしません。銀行と取引あるお客様がお持ちの不動産を、われわれの特に大事なお客様のみにご案内しておりますので、ご安心いただけます。

銀行の売上においても、ここ数年、右肩上がりなの

がM&Aに関する業務です。皆様のところへもM&Aの仲介を行う業者さんからの激しい営業を受けていることを良く耳にしますし、M&Aは事業承継の選択肢の一つとして、ずいぶん一般化してきています。そのようなM&A業務ですが、りそなには3つの強みがあります。

1つ目は、基盤力です。グループ全体で約50万社、お取引いただいている法人さんがあり、この基盤を生かした業務展開を行える点です。

2つ目は、対応力。経験豊富なメンバーが丁寧に最初から最後まで行い、M&A仲介以降も銀行としてサポートできる点です。

3つ目は、連携力です。さきほどご紹介したグループ企業や外部の専門家とも連携し、情報提供からサポートを行うことができます。

プライベートバンキング部門でも、特に中小企業様における事業承継については、その企業様に合わせたオーダーメイドで、じっくり丁寧に対応しております。

尚、信託を使ってこんな業務も行っております。人事、人材についてです。ベテラン社員が立て続けに定年退職予定とか、若い社員の採用や定着率が悪い、本当に難しいのが、さまざまなのが値上がりし、企業業績を圧迫するなか、度重なる賃上げ要請、このような難題に対し、現状をコンサルティング、制度面の設計、また実際に人材紹介なども行っております。

昨年より、りそなグループは、バスケットボールのプロリーグである、Bリーグの協賛をはじめております。

また、今年4月から始まる大阪・関西万博におきまして、りそなグループは万博のメインバンクとなっております。そのなかでも「大阪ヘルスケアパビリオン」において、39社の出店企業をサポートします。

万博をより盛り上げるイベントとして、3月16日(日)エキスポ駅伝が開催されます。これは、箱根駅伝を走った大学や、強豪実業団が参加する史上初の試みとなっております。

このようなイベントにも協賛しながら、関西、大阪、そしてこの江坂地域のお役に立てる、また皆様に必要とされる金融機関を目指して参りますので、引き続きのご指導とご鞭撻のほど、何卒よろしくご厚意申し上げます。

以上で、私の卓話とさせていただきます。本日はご清聴ありがとうございました。



橋本(幸) 会員増強委員長からゲストにRC活動を説明



お友達例会に参加のゲストの皆様



米山記念奨学会より「米山功労者」の表彰①



米山記念奨学会より「米山功労者」の表彰②



米山記念奨学会より「米山功労者」の表彰③



紙谷会長も表彰されました。



村田会員、本日の卓話ありがとうございました。

私の座右の銘 22

清水 大吾会員

「先憂後楽」

私の公私にわたる人生の師匠であります高僧のお方から、私が社長就任時に頂いた「書」の言葉です。経営者、リーダーたるものは、いろいろな憂い、心配、トラブル等を部下やメンバーのために、先に苦勞して取り除き、後が楽になるよう率先して動いて行動しないといけない、との意味の言葉です。私の社長室に飾って、いつも心がけているお言葉です。